

空冷ヒートポンプエアコン設備保守点検業務特記仕様書

1 業務概要

本業務は、大阪市立科学館の空冷ヒートポンプエアコンの点検業務を行うもので、設計図書（本仕様書、共通仕様書）に基づき保守点検を行うとともに、それに伴う書類の作成及び手続き等、報告書を提出するまでの一切の業務を行うものとする。

2 対象設備

別紙1「機器表」のとおり

3 点検内容

定期点検の内容については、共通仕様書第2編第4章第1節4.1.1～4.1.4、第3節4.3.2、4.3.9、による他、別紙2「点検整備基準表」によるものとする。

4 その他

- (1) 定期的（冷房前・暖房前）に、専門の技術者を派遣して点検をし、清掃及び調整を行い、性能を最高に維持するよう適切な処理を行うこと。
- (2) 点検作業は安全管理等に充分配慮し、常に2名以上で行うこと。
- (3) 定期的に専門の技術者による機器・装置の保守点検を行うこと。
- (4) 作業日は、大阪市立科学館休館日のメンテナンス可能日の午前9時00分から午後5時30分までを原則とする。
ただし、発注者と十分協議のうえ、施設の運営に支障のないものについては、その限りではない。
- (5) 故障・事故等が発生した場合は、上記にかかわらず速やかに専門の技術者を派遣し、適切な処置を行うこと。
- (6) 劣化及び不良等を発見した場合、必要に応じ劣化状況等を示す写真及び図面等をあわせて速やかに報告すること。
- (7) 全ての専門の技術者に対して、技術研修の充実を図り、作業マニュアル等の周知徹底を行うこと。また、点検作業については常に複数でのチェックを実施するなど、履行の確認を徹底すること。
- (8) 故障、事故など不具合が生じた機器・部品は、次回の点検時より重点点検を行うこと。重点点検の実施及び期間は、発注者と協議の上決定する。点検結果は毎月の点検報告書に併せて報告すること。
- (9) 事故、故障などについての情報は、全社的に関連する保守部門及び品質管理部門等へ速やかにフィードバックし同様の機器を使用している機器への水平展開を図り、再発防止のため必要な処置を講じること。

機器表(保守点検 2回/年)

系 統	室 外 機	台 数	室 内 機	台 数
増築棟	PUHN-P280VSM-B1	1	PUHN-P71AM-C	2
増築棟	PUHY-P560VSM-B1	1	PLFY-P80AM-C	3
			PLFY-P112AM-C2	4
コンソール (ホール棟)	MPUZ-RP56SHA	1	MPE-RP56CA	1
プロジェクタ室 (ホール棟)	MPUZ-RP80SHA	1	MPE-RP80CA	1
BF 救護室	MPUZ-P56SHA	1	MPL-RP56AA2	1
BF 案内員室	MPUZ-RP56HA2	1	MPL-RP56PA2	1
BF 休憩・会議・団体受付	PUSY-P140M-E	1	PLFY-P56AM-E1	3
BF 研修室	MPUZ-P140HA3	1	MPL-RP71BA	2
BF 清掃員室	MPUZ-P40SHA5	1	MPL-RP40LA	1
BF 館長室	MPUZ-RP63HA7	1	MPL-RP63BA3	1
BF 工作室	PUHY-RP140CM-E3	1	PEFY-P140M-E1	1
BF 事務室	PUHY-RP224CM-E3	1	PEFY-P224M-E1	1
BF 常務室	MPUZ-RP40HA7	1	MPL-RP40BA3	1
1F 増築棟	ロスナイ LGH 型	4		
BF 中央監視室	PUZ-ERP40-KA5	1		1
BF 女子更衣室	MUZ-AXV40TSW	1		1
BF 男子更衣室	MUZ-VX32FS-W	1		1
BF 元救護室	MSZ-282CS	1		1

点検整備基準表

点検整備基準表		保守点検
作業・点検内容		
①	吸込み温度、吹出温度の確認	○
②	運転音・振動の確認	○
③	冷媒漏洩検査	○
④	付属部品動作確認	○
⑤	圧縮機・冷媒ポンプ電動機の絶縁抵抗確認	○
⑥	クランクケースヒータの絶縁抵抗確認	○
⑦	送風機電動機の絶縁抵抗確認	○
⑧	制御弁の動作確認	○
⑨	電磁接触器・リレーの点検	○
⑩	熱交換器の汚れ点検	○
⑪	配線の劣化点検	○
⑫	端子の増し締め	○
⑬	送風機の汚れ確認	○
⑭	送風機の軸受けの点検	○
⑮	外装の腐食点検	○
⑯	リモコン動作確認	○
⑰	フィルターの汚れ点検	○

